

令和4年度 第2回静岡市在宅医療・介護連携協議会
啓発研修部会 会議録

- 1 日 時 令和4年9月14日(水) 19時15分～20時45分
- 2 場 所 Zoomによるオンライン会議
- 3 出席者 吉永部会長、近藤委員、瀧委員、中川委員、平野委員
(事務局) 地域包括ケア推進本部次長補佐 森川、
在宅医療・介護連携推進係 北原
- 4 傍聴者 0人
- 5 次 第 (1) 開 会
(2) 挨 拶
(3) 議 事
協議事項
① 令和4年度人生会議(ACP)の講演会企画について
・人生会議(ACP)に関する取組 (資料1)
・企画の検討 (資料2)
② 令和4年度静岡市在宅医療市民公開講座
～対話を通して、「人生の終わり方」について考える～
アンケート(案)について(資料3)
- (4) 閉 会

6 会議内容

- (1) 開会 開会宣言及び会議成立の報告(委員5人全員出席により会議は成立)
- (2) 挨拶 地域包括ケア推進本部次長補佐 森川
- (3) 議事 協議事項

①令和4年度静岡市在宅医療市民公開講座の企画について

吉永部会長

背景として、高齢化が進み、在宅看取りが増えるだろうといわれているが、輪をかけてコロナになり、重症化率は下がっているものの、高齢者の死亡率は上がったところで横ばいになるとみられている。想定していたスピードより速く看取りが必要になる数が増える可能性が十分にある。

ACPに関してもできるだけ早くみなさんに知っていただくことが重要と考えるため、これを進めることに意義があると思っている。前年度に講演していただいた平野先生にお願いできればと考えている。

近藤委員

介護の場面では、ACPの話をする時期が難しい。早すぎると家族が混乱し、話がまとまらなくなる。ケアマネは話をするが、他の人が話をした時、全然違う話になってしまう。訪問看護師がACPの質問をしたところ、聞かれたほうは困っていたことがあった。その辺が難しい問題である。勉強をしているが、現場に落とし込むことが難しい。知識として知ってもらう程度で話すのか、一歩進んで看取りの段階で話すのか、そこが難しいと思っている。

瀧委員

ACPの話をすることに対して抵抗や誤解があると思う。医療職向けだけでなく、市民のみなさんも巻き込んで、正しい理解を持ってもらうと良い。若い世代も含め、広く市民のみなさんとグループディスカッション出来れば有意義なものになる。

中川委員

私たちが在宅で看取る方には説明をするが、体の衰えに合わせて説明するので、いきなりACPと言われて、健康な人がそこを考えるのは難しい。受け入れる時間が必要になると思う。専門職としては、前から言われていて、ある程度知識はある。そういう方の事例を、市民のみなさんも一緒に聞けると身近に感じると思う。

吉永部会長

今回の対象を考えたときに、市民のみなさんも巻き込んでというのは大切で、たくさんの人に出来るだけ早く知ってもらう必要はある。そうすると逆に、専門職の人にやってもらい、専門職の人から市民のみなさんへ広げてもらうのも手だとも考えている。そういうことを平野先生に教わり、専門職向けに具体的な話もでき、市民のみなさんには踏み込んで話してもらえるのではないかと。

平野委員

まず、ACPをする時に医者が主導して話を進めなければならないのが根本である。医者が主導する時に、タイミングが遅すぎ早すぎということがある。出番がなかなか難しい。年齢層によっても考え方が違う。場所によっても色々あるが、そこでの対応によって医療職の手のかかり方も違う。

令和4年2月に行った講演は、市民のみなさん向けであったが、専門職も含めて幅広く、事例を2～3事例具体的なものを伝え、考えてもらうような機会になった。対象は幅広いほうが良いと感じている。

講演ではオンラインで聞いてもらえる方が気楽に参加しやすい。来場は一部の人で、参加が難しい人にはオンラインが良いと思う。

吉永部会長

ACPに関して、現場が困っているのがよく分かった。今回、対象をできるだけ広げる、多くの人に知ってもらい、ACPについて早く知ってもらうために、基本はハイブリッドでよいと思われる。

また、専門職だけでなく市民のみなさんも対象に幅広くやるということによろしいか。

平野委員

今回のACP研修は、グループディスカッションは行わず、市民のみなさんも対象に幅広く、多くの方に聞いてもらえばいいと思う。

以下を協議し決定した。

ア 研修・講座内容

「ACP」に関する講座、総論、各論、事例 ※グループワークは実施しない

イ 研修・講座の対象者

市民及び医療・介護専門職

ウ 開催方法

来場とZoomによるオンラインのハイブリッド

エ 講師

平野周太氏（平野医院 院長）

オ 対象者人数

来場 50 人

オンライン 100 人

カ 日時及び会場

令和5年1月21日（土） 午後 静岡市役所本館3階 第1委員会室

② 令和4年度静岡市在宅医療市民公開講座

～対話を通して、「人生の終わり方」について考える～

アンケート（案）について

資料3で決定した。

（4）閉会

■会議録確認署名

「令和4年度静岡市在宅医療・介護連携協議会 第2回啓発研修部会 会議録」
について、内容を確認しました。

静岡市在宅医療・介護連携協議会 啓発研修部会 部会長

氏名(署名)

吉永 治彦